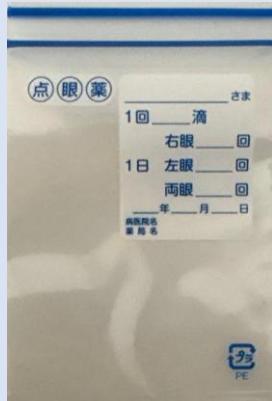




令和7年11月

点眼瓶のビニール袋

実は2024年に入り、各製薬メーカーにより、点眼瓶に添えられておりました点眼瓶のビニール袋が順次、姿を消すこととなっております。背景には、2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」がございます。



この法は、社会の隅々までプラスチック資源の循環と削減を促す、時代の静かなる要請であります。

業界団体である**日本眼科用剤協会**も、この環境負荷低減という大きな流れに深く賛同し、メーカー各社と共にこの決断を下しました。

試算によれば、この小さなビニール袋一つ一つが年間でおよそ**1億5千万枚**もの削減に繋がることのこと。

便利で有益なものが、時代の移ろいの中で静かに役割を終えていく——。その流れが良いか悪いかは、時の判断に委ねるとして、私たちは今、より持続可能な未来への一歩を踏み出します。

当院での対応

お薬をお渡しする際には、引き続き薬剤情報が記された用紙を添えさせていただきます。この用紙に記された用法用量を守り、大切にお使いください。

誠に勝手ながら、**現在のビニール袋は在庫がなくなり次第、配布を終了**とさせていただきます。地球の未来、そして視界の健康のために、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

ノットバリアフリー問題

当院は皆様の健康を守る場所でありながら、建物自体の構造が少々「レトロでアクロバティック」になっており、ご迷惑をおかけしております。エレベーターに乗るのにも待ち受ける段差があり、まるで試練のようで大変申し訳ありません。せめて、安全に利用できるように**手すり**をつけました。構造上の限界により完全なバリアフリーは難しいですが、少しでも安全になるよう心がけたいと思います。